



富久ソラからのうちゅうだより (本園)

～2月号～

～ONE ROOF～

「大きなうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになりそして成長して、未来を創り出す力を育てていこうという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
富久ソラのこども園ちいさなうちゅう
(本園) 〒162-0067 東京都新宿区富久町 14-1
TEL 03-6380-0414
(分園) 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-13
TEL 03-6380-6437
令和6年2月1日発行
園長 山口 隆子



先月は厳しい寒さが続き、散歩から帰ってきた子どもたちの手は、ひんやり冷たくなっていました。しかし、嬉しそうにお土産の落ち葉を見せてくれたり、公園で遊んだ話を聞かせてくれたりする姿に、たくましさを感じています。4.5歳児室では落ち葉がアートに変身しており、のびのびとした作品に心が癒されます。



【節分に向けて】

今年も1ヶ月が過ぎ、もうすぐ立春を迎えます。

立春は二十四節気において春の始まりとされ、立春前日の節分は邪気を払い一年の幸せを祈る日です。

園では、2日の節分の会で子どもたちに節分の由来や豆まきの意味を伝え、一年を健康に過ごせるようお願いを込めて豆まきを行いたいと思います。

乳児クラスは、各クラスの成長に合わせ、子どもたちが興味をもって伝統行事に参加し楽しめるように、丸めた新聞紙やボールを使って鬼的当てを行います。

幼児クラスは、園内で豆まきを行った後、いつも園を支えてくださっている地域の方々にも福が来るようにと願いを込めて、自分で作った鬼のお面を被り地域を練り歩きます。はな組は分園に併設されている地域交流館に、ほし組は分園と青果店「ほていや」に、つき組は初詣でもお世話になった西向天神に、それぞれ出かけます。今年度はコロナが明けて、地域の方々との交流が増え子どもたちの成長と一緒に支えていただくことができ、子どもたちにとっても様々なかかわりを経験することができた一年でした。今後も地域との連携を深め、子どもたちが地域の環境や人々とのかかわりを豊かにし、様々な学びや生活を充実させていくことができるようにしたいと思います。



【第三者評価を終えて】

1月24日(水)に、第三者評価機関「こどもプラットフォーム」の方が来園し、保育の様子や園内環境を観察していただきました。玩具の内容や配置、各年齢の成長の連続性などについてのご指導をふまえ、今後も保育の質の向上のため研鑽に努めてまいります。

保護者の皆さまに入力いただきました事前アンケートの結果を本日、配布しております。ご確認くださいませようをお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

今月の予定・お知らせ

日	曜	内容	対象クラス	撮影日
1	木	避難訓練	全園児	
2	金	節分の会	全園児	
3	土			
4	日			
5	月	異文化交流 身体測定	3. 4. 5歳児 2. 3歳児	
6	火	身体測定	0. 1歳児	
7	水	体育指導 身体測定	2. 3. 4歳児 4. 5歳児	
8	木	アトリエ 大きなおうち広場	4歳児 地域家庭	○
9	金	杉アート	5歳児	
10	土			
11	日	建国記念の日		
12	月	振替休日		
13	火	アトリエ	3歳児	
14	水	スポーツプロジェクト 年度末懇談会	5歳児 3歳児保護者	
15	木	誕生会	全園児	○
16	金	アトリエ 年度末懇談会	2歳 4歳児保護者	○
17	土	年度末懇談会	0～2歳児保護者	
18	日			
19	月			
20	火	0歳児健康診断 杉アート	0歳児 5歳児	
21	水			
22	木	異文化交流 親子クッキング	3. 4. 5歳児 5歳児親子(希望者)	
23	金	天皇誕生日		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火	卒園遠足	5歳児	
28	水			○
29	木			

14日/16日/17日 年度末懇談会(0～4歳児)

以下の日程で、年度末懇談会を実施いたします。今年度の子どもたちの成長した姿や来年度に向けたクラス移行についてお伝えします。クラス別に行うため、日時等お間違えないよう、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

詳細につきましては、先日、0・1・2歳児は1月24日(水)、3・4歳児は1月12日(金)にKindy保護者へのお知らせにて情報を配信しています。ご確認ください。

0歳児

2月17日(土) 9:15～10:15 (受付9:00)

1歳児

2月17日(土) 9:15～10:15 (受付9:00)

2歳児

2月17日(土) 10:45～11:45 (受付10:30)

3歳児

2月14日(水) 17:00～18:00 (受付16:45)

4歳児

2月16日(金) 17:00～18:00 (受付16:45)

2月27日 卒園遠足(5歳児)

卒園に近づき、友だちとの思い出作りとして、卒園遠足に行きます。準備物等ご協力いただきますようお願いいたします。

詳細につきましては、後日お知らせを配布いたしますので、ご確認ください。

【場 所】マクセルアクアパーク品川
(東京都港区高輪4-10-30)
※雨天決行



お知らせ

【令和6年度 土曜保育・延長保育申請について】

土曜保育・延長保育を利用される方は、年度毎の申し込み、事前登録が必要になります。

来年度も継続して利用希望の方は、2月15日以降、職員まで申し出の上、申請書の提出をお願いいたします。

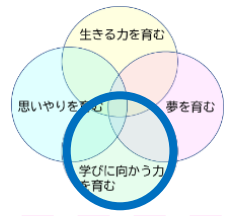
なお、延長保育については、申請書を提出し、面談の後、園より利用開始の決定書をお渡しいたします。

【本園2歳児保育室 床工事について】

3月9日(土)に、業者による2歳児保育室床の張り替え作業を行います。当日、土曜保育を利用される方は、2F一時保育エントランスより送迎をお願いいたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。





保育室でコンサート！？

12月にサンタさんからクリスマスプレゼントでマラカスをもらい、あひる組の子どもたちは、様々な野菜や果物の形のマラカスに興味をもち「あたらしいおもちゃだ！」と目を輝かせていました。親子交流会でどんぐりのマラカスを作って『おもちゃのチャチャチャ』を演奏してからは、音楽や歌に合わせてマラカスを鳴らすようになり、保育者が歌を歌うと、玩具棚からお気に入りのマラカスを持ってきて歌に合わせてマラカスを鳴らしています。保育室でミニクリスマス会を行った際に、保育者がギターを弾くと子どもたちが一緒にマラカスを鳴らして、0歳児室がコンサート会場ようになっていました。継続して音遊びに触れており、最近では、保育者の姿を見て自分と保育者の分のマラカスを持って近寄り「一緒に歌を歌いながらマラカスを鳴らそう」と要求する姿があります。4月当初はガラガラを握って左右に揺らしたり、音が出る知育玩具のボタンを押したりして遊んでいましたが、友だちや保育者と一緒に歌いながらマラカスを鳴らすことができるようになり、子どもたちの成長を感じます。音の出る玩具は、音を聴き分ける力やリズム感が身に付くだけでなく、音の心地よさを感じたり、自分で鳴らす喜びを味わったりすることで心の成長にもつながります。これからも、子どもたちの興味に寄り添い、様々な音楽や歌に合わせて表現遊びを楽しんでいきます。



雪を降らせたよ！



先日、紺色の画用紙に白色の絵の具で点や線を描き、雪を表現した作品を作っています。両手に絵の具をつけてダイナミックに手形や指スタンプをしました。今までは、白い画用紙に赤や青、黄色等のカラフルな色を使って制作をすることが多く、いつもと違う色で手が真っ白になっていることに気づき驚く様子もありましたが、慣れると集中して行っていました。保育者が「雪が降ってきたよ」と話しながら指スタンプをすると、真似をしてたくさんの雪を降らしているかのように表現しています。また、初めて筆でも線や点を描いています。筆を渡すと「なんだろう？」と不思議そうに筆を眺め、保育者が一緒に筆を持ち使い方を教えると紙が擦り切れるくらい夢中になって線を描いていました。初めて絵の具に触れた際は、手に色がつくことに驚き大泣きする子もいましたが活動の回数を重ねるごとに表現する面白さに気づき、手が汚れることにも慣れました。今後も絵の具遊びだけではなく、子どもたちの発達に合わせ、様々な素材や道具を使って制作活動を行っていきます。



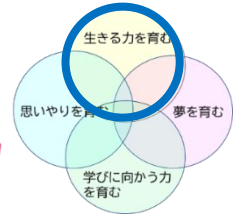
<2月のねらい>



- 衣服の着脱など身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。
- 保育者が見守る中で、友だちとのかかわりを楽しむ。



じぶんでできたよ！



寒さが一段と身に染みる季節になりましたが、子どもたちは外で元気に遊んでいます。散歩に行くことが分ると「おさんぽ～！」と嬉しそうに話し、靴下や帽子、靴を自分のマークシールが貼っているケースから取り出し、身に付けます。これまで、保育者に帽子や靴下を履かせてもらうことが多かった子どもたちも、今では自分で帽子を被ろうとしたり、靴下の履き口につま先を入れようとしていたりしています。自分でできた際に「できた！」と誇らしげに話したり、拍手をしたりして喜ぶ姿が可愛らしくもあり、成長を感じます。

散歩帰園後やオムツ替えの際には、ズボンの着脱に取り組んでいます。ズボンを履く際には、ズボンを足首から上に上げてみる、ズボンの履き口を知り片足ずつ入れる等段階を踏んで伝えたり、援助したりすることで、子どもたちはズボンの着脱の仕方を覚え、やってみようとするが増えてきました。お尻の部分上げる等まだ一人で行うことが難しい部分もありますが、保育者が繰り返し手を添えたり、言葉で伝えたりして意欲的に自分で取り組めるようにしていきたいと思います。

園では、一人ひとりの自分でやってみようとする気持ちを大切に、保育者は子どもたちの意欲に寄り添い、必要以上に援助せず、時間をかけて見守ることを心がけています。また、さりげなく手を添え援助することで、自分で「できた！」という達成感を味わい、自信や更なる意欲に繋がるようにしています。保護者のみなさまもご家庭や登降園時なども無理のない範囲で、子どもたちの自分でやってみようとする様子を見守っていただけたらと思います。

よいしょ！



じぶんでできた！

【友だちと手と繋いで歩いているよ！】

戸外の散歩や進級に向けて、園内でも食事やおやつの際の移動時にランチルームまで友だちと手を繋いでいます。歩行が安定し、戸外でも少しずつ友だちや保育者と手を繋いで歩くことができるようになってきました。保育者が「〇〇ちゃんと〇〇ちゃん手を繋げるかな？」と声をかけると、周りを見渡して友だちを探し、手を繋いでいます。友だちとかかわる経験を重ねて親しみも増し、互いに手を伸ばし、歌を歌ったり、顔を見合わせたりしながら歩く姿が微笑ましいです。一人ひとりの発達に合わせて、これからもたくさん歩き、遊びながら体力をつけ、寒い冬を乗り越えていきたいと思います。



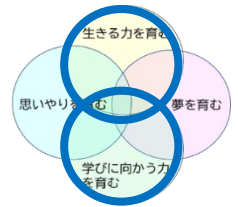
<2月のねらい>

- 簡単な身の回りのことを意欲的に行い、自分でできた喜びを感じる。
- 保育者や友だちと様々な遊びを一緒にすることを楽しむ。





北風ぴいふう吹いている



寒さや乾燥が気になる時期になりましたが、子どもたちはひんやりとした空気を肌で感じながら、元気よく過ごしています。中には散歩先で身体を動かし遊んでいると「あついから、うわきぬぐ」と言い、上着を脱ぎ捨て、元気に走り回る姿もあり驚かされています。ある日、散歩先へ向かう道中や帰り道、冷たい風が顔や手元に当たると「さむーい!」「きゃー」と声を出し、上着の袖やポケットに手を入れて歩いていました。「おててがポケットに入っていると、転んじゃった時におててが出なくて顔をぶつけてしまうから、寒いけど出しておいてね」と保育者が声をかけると、寒さに負けず手を出し歩いている姿がとてもたくましく、乳児クラスから幼児クラスへと成長していると感じました。寒さを紛らわすために歌うことを思いつき「あわてんぼうのサンタクロース」や「豆まき」をなどの歌を歌ったり、手を温めようと両手を口元に当て「はっはっはー」と息を吹きかけたり、保育者と一緒にいろいろなことを考え実践していました。今後も子どもたちの言葉や思いを読み取り、ひらめきや想像力を広げ伸ばしていけるよう、丁寧に会話をしていきたいと思えます。



最近の外遊びの様子



正月遊びでこま回しをしました!



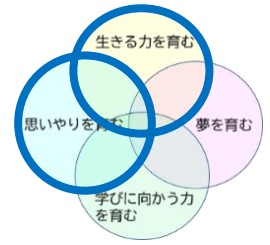
<2月のねらい>

- ・自分から進んで身の回りのことをしようとする。
- ・簡単なルールのある遊びを楽しみ、友だちとかかわって遊ぶおもしろさを味わう。





ちくちくとふわふわ



年明けから元気に登園してくれた子どもたち。それぞれに「おはよう！（遊びに）いーれーて？」と、友だちに声を掛けて正月遊びをしたり、保育者が仲介しなくとも子ども同士で決まりや設定を決めて同じ遊びを楽しんだりする姿が見られました。全員が登園してくれた日もあり、新年も子どもたちのエネルギーを感じられて嬉しいスタートになりました。

コミュニケーションが増える一方で、言いたいことが相手に伝わらなことも、互いに自分の主張だけを相手に受け入れてもらおうとすることも多くなり、うまく遊びを進めらずトラブルになることもあります。語彙の少なさや、相手の気持ちを理解できないもどかしさから「もう、〇〇ちゃんとあそばない」「きらい」等と、友だちを責める言葉を口にする様子も見られるようになりました。そこで保育者が「ちくちく言葉」「ふわふわ言葉」についてみんなで考えてみようとして提案してみました。

「ちくちく言葉とふわふわ言葉って、みんな知っている？『きらい』とか『あそばないよ』とかはどちらの言葉だと思う？」と朝の会で保育者がきり出すと「ちくちく！あとは、あっちいってとか。」と理解している子が多く「じゃあ、ふわふわ言葉ってどんな言葉？」と聞くと「だいすき」「いっしょにあそぼう？」「ありがとう」等、次々と優しい言葉が溢れてきました。相手も自分も嬉しくなる言葉を使い、仲良く過ごせるようにしようと伝えるとみんな大きく頷いてくれました。

進級まであと2ヶ月、子どもたちと一緒に気持ちの良い言葉を掛け合いながら楽しく過ごしていきたいと思えます。

★ちぢみほうれん草ちぎり★

先月、食育活動として、その日の給食やおやつに入れるちぢみほうれん草を、ちぎるお手伝いをしました。「なんか、くさみたいなおいがする」「やわらかい！」と感想を口にしながら、細かくちぎる子や、ササッと大きくちぎっておしまいにする子など、それぞれの個性が表れていました。

食材に触れることで、苦手な食べものにも興味をもち少しずつチャレンジしていけるよう、今後も食育活動を楽しんでいきたいと思えます。



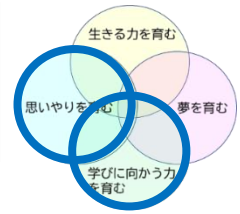
<2月のねらい>

- 時計や時間に興味をもち、見通しをもって行動しようとする。
- ルールのある遊びを友だちと行っていく中で、ルールを理解して守ることの大切さを知る。





おもいっきり！



子どもたちは寒さに負けず、戸外に行くと身体を動かしています。縄跳びは、縄を回す、跳ぶ、というふたつの動きを同時に行わなければならないため、初めのうちは、難しくてすぐにやめる子が多くいましたが、友だちが連続で跳んでいる姿を見て、わたしにもできるかもしれない、やってみようかなという気持ちが芽生え、今では多くの子がチャレンジしています。まずは保育者が後ろに立って縄を回し子どもが跳ぶ感覚がわかるよう伝えました。次に、縄に合わせて跳ぶというところから始め、縄を回すコツや跳ぶタイミングを伝え、子どもたちは、一回跳べるようになったことに喜びを感じていました。一回跳べたという自信から意欲が湧き、繰り返し取り組む中で、少しずつ跳べる回数が増えていきました。また、ドッジボールの前段階として、中当てという遊びを行っていましたが、つき組がドッジボールをしているのを見て、興味をもち、ほし組でも中当てからドッジボールへと発展させています。子どもたちはすぐにルールを理解して遊びを楽しんでいました。ボールを自分が投げたいという気持ちもあり、そのなかで友だちと譲り合い、ボールが当たって悔しさを感じながら気持ちを切り替えて外野のポジションで頑張り、友だちを応援する姿に心の成長も感じます。

今後も身体を動かす中で、様々な集団遊びを行い、友だちと協力し合う喜びや楽しさを感じたり、達成感を分かち合ったりできるように活動を計画していきたいと思います。また、走る、投げる、跳ぶ、登る、ぶら下がる等々、多様な動きが経験できる運動遊びを取り入れ、自分の身体をコントロールする力を育むとともに、丈夫な身体づくりにもつなげていきます。



< どんぐりで正月遊び 🍡 🍡 >

新年お楽しみ会では、正月に関するクイズやパネルシアターを行い、正月遊びを紹介しました。すると、子どもたちはけん玉や独楽、福笑いに興味をもって取り組み、特にほし組では独楽が大流行しました。友だちと同時に独楽を回し始め、どちらの独楽が長く回り続けられるか競ったり、独楽を逆さにして回す、きのこ回しをしたりなど、様々な遊び方で盛り上がる子どもたち。保育者が散歩先で拾ったどんぐりを使い独楽を作ってみると「なにそれ！たのしそう！」と興味をもって子どもたちも早速作り始めました。保育者がどんぐりのおしりにキリで穴をあけ、子どもたちはどんぐりにポスターカラーで思い思いに模様や顔をペイントし、爪楊枝を刺したら完成です。普通の独楽は両方の手のひらを使って回す子が多いのですが、このどんぐり独楽は指で勢いよく回す必要があるため、上手く回すのに苦戦しながらも、自分が作った物に愛着をもち、何度も繰り返し楽しんでいました。



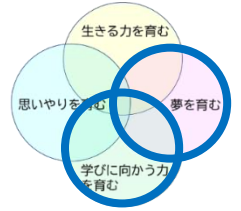
< 2月のねらい >

- ・音楽に合わせて身体で表現する楽しさを味わう。
- ・年上児にあこがれの気持ちをもち年下児の手本になろうとする。





あそびとともに



厳しい寒さが続く中、子どもたちの植えたチューリップの芽が顔を出し、もうすぐ迎える春の訪れを知らせてくれています。「これくらいのびたよ」と芽の高さを具体的に示し、生長を楽しみにしながら、チューリップの世話をしてくれている子どもたちです。

つき組として過ごすのも残り2ヶ月となり、遊びの中で「小学校ごっこ」と称して、先生役や生徒役に分かれて問題を出し合っていて楽しんでいます、時にはレゴブロックの人形を動かしながら役ごとに分かれて、それぞれになりきって遊びを楽しんでいます。その中で「校長先生」という単語もちらほらと聞こえ、小学生になることへ夢を膨らませているようです。また、行事や友だちとのかわわりを経て、心も身体も成長し、戸外へ出かけた際には「どろけいやろうよ!」「だるまさんがころんだやらない?」と言って友だちと誘い合い、集団遊びを楽しむことが主流になりました。遊びの中では、子ども同士で進める姿が見られるようになり、楽しんでいく中でのルールの認識違いには「みんな、あつまって! っかい、はなしをしよう!」と提案し、話し合いを通して、子ども同士で解決しようとする力も育まれています。

ある日のドロケイ遊びを紹介します。いつもと同じように遊びをスタートすると、つかまっていないどろぼうの一人が牢屋の中に入り、次々と仲間をタッチして助け出していました。どうしてそうなったのか集まって話をしていく中で「つかまったふりをして、たすけたんだよ」といった回答に「それはズルだよ」という意見だけではなく「それはさいしょにそういうルールがあるか、きめればよかったんだよ」と解決に向けてどうしたらよいか考えを出し合っていました。話し合いの中では、優位に立ちたいために、自分の意見を押し通そうとすることがあります。様子に応じて解決に向けて保育者が提案をすることはありますが「せんせいはだまって」と自分たちで解決しようとすることもあります。今後も子どもたちの考えや成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



正月遊びや伝統に触れて



こっちがひよこぐみで



10びょうかそえたら
つかまえにいくよ!



郵便局員のお仕事体験



<2月のねらい>

- 就学に向けての期待や不安を受け止めてもらい、安定した生活が送れるようにする。
- 友だちと互いの良さを認め合いながら、生活や遊びを進める楽しさを味わう。



保健だより

気温が低く乾燥した日が続いています。2月4日は立春で暦の上では春を迎える時期ですが、この時期が最も寒くなるといわれています。基本的な感染症予防をしていきましょう。

2月の目標
寒さに負けず元気に過ごす

《注意しよう！低温やけど》

低温やけどは、普通のやけどに比べて「痛い」「熱い」といった自覚を伴わず起こります。皮膚の深部に及んで重症化する危険があります。以下のことに注意をしましょう。



★ホットカーペット・湯タンポ・電気あんか

長時間、身体の同じ場所が当たり続けると低温やけどを起こす恐れがあります。

心地良さを感じる温度を目安に、時々調整しながらうまく使用しましょう。

★貼るカイロ

肌に直接あてず、他の暖房器具との併用、就寝時は使用しないようにしましょう。

★寝ている子どものそばで、スマートフォンの充電

スマートフォンを布団や毛布で覆った状態で、充電したりやアプリケーションを起動したままにしたりしているとスマートフォンは発熱します。

このような状態で就寝時、肌に触れたままとなると低温やけどを起こす恐れがあります。寝るときは布団の上で充電しないようにしましょう。

また、バッググラウンドで起動しているアプリケーションを切るようにしましょう。



～国民生活センター・東京 WEB より～

《お口のケアは感染対策の第一歩》

ウイルス感染は、鼻や口、眼の粘膜などから起こります。毎日行う歯磨きは、歯周病原細菌を減らしたり、風邪やインフルエンザの感染を防止したりします。




「子どもには、歯磨き粉をどのくらい使えばいいの？」と疑問に思ったことはありませんか。

歯磨き粉は適切な量を使用し、毎日のお口ケアで口と体の健康を保ちましょう。



～保育と保健ニュースNo.102・日本歯科医師会 歯の学校より～

虫歯予防のためのフッ化物配合研磨剤の推奨される利用方法

年齢	使用量(※1)	フッ化物濃度(※2)
歯が生えてから2歳	米粒程度 (1~2mm程度) 	900~1000 ppmF
3~5歳	グリーンピース程度 (5mm程度) 	900~1000 ppmF
6歳~成人 (高齢者を含む)	歯ブラシ全体 (1.5cm~2cm程度) 	1400~1500 ppmF

食育だより

【先月の様子】

おせちや七草、鏡開きについての話をしました。実際に見たことのあるものが多かったため、興味を示す様子がありました。一つ一つの意味を伝え、給食に出てくると「こんなあじがするんだね」「これがななくさだね」と友だち同士楽しそうに食事をしていました。旬の食材の話では、ほうれん草とちぢみほうれん草の見比べを行いました。その後、ちぢみほうれん草ちぎりをを行うと「ほうれんそうよりふわふわしているね」と観察を楽しんでいました。



旬の食材の話

おせちの話

鏡開きの話

ちぢみほうれん草ちぎり

暦の上では立春を迎えますが、まだまだ厳しい寒さが続きます。

今月は、風邪やインフルエンザなどの感染症が増加する季節であるため、身体を温める事が大切です。

そのため園では、ごぼうや蓮根などの根菜類、カブや大根など身体を温める効果のある冬野菜を献立に取り入れることで元気に過ごせる工夫をしています。

園おすすめレシピ ～切干大根のハリハリサラダ～

☆材料（4人分）

- ・切干大根…15g
- ・胡瓜…1/2本
- ・人参…1/2本
- ・黄パプリカ…1/2個
- A {
- ・穀物酢…大さじ1
- ・サラダ油…小さじ2
- ・上白糖…小さじ1
- ・薄口醤油…小さじ1弱

☆作り方

- ① 切干大根を戻し、水気を切る。食べやすい長さに切り、3分茹で、粗熱が取れたら水気を切る。
- ② 胡瓜、人参、黄パプリカは細切りにし、サッと茹でて水気を切る。
- ③ Aの調味料と①②を和え、完成。



野菜と切り干し大根の食感が楽しいハリハリサラダ。
切干大根は余りがちな食材ですが、カルシウムやカリウムなど栄養がたくさん含まれているので、食卓に一品追加してみてもいいですか？

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡ 家庭でできる食育 ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

～感謝して食べよう～

私たちが食事をするまでの過程には食べ物を栽培・収穫をする農家・漁師・畜産家などの生産者、運搬をする業者、販売する小売店、それらを調理する方などたくさんの方が関わっています。食事の挨拶「いただきます」「ごちそうさまでした」には食べ物と上記の方々に対する感謝の気持ちが込められています。子どもたちには、給食も家庭の食事も様々な人に支えられていることを伝え、苦手なものにも挑戦して食べられるように日々の声掛けを大切にしていきたいですね。